

活力あふれる農村を目指して

東総耕地の将来像を考える研修会



▲葉っぱの商品化を講演する横石知二さん

東総地域の農業をさらに活力のあるものにしようと、10月13日、旭市などの主催による「第6回東総耕地の将来像を考える研修会」が東総文化会館で開かれました。

この日の講師は、岩手県遠野市“あやおり夢を咲かせる女性の会”塾頭の菊池ナヨさんと、徳島県上勝町“株式会社いろうどり”代表取締役副社長の横石知二さんです。

菊池さんは、女性の声を結集して「全国初の田んぼの中のトイレ」を完成させたことや、道の駅に農産物の販売店を開設したこと、北東北なべなベサミットの開催など、女性の手で進めてきた夢のある農村づくりについて講演しました。

横石さんは、料理に添える「つま物」を商品化したまちおこしの仕掛け人。始めたときは「葉っぱが金になるのは狸だけだ」と笑われたことや、商品化するまで料亭に通いつめて研究したこと、お年寄りの競争心をくすぐる仕組みを作ったことなど、苦労話を交えながら成功までの道のりを話してくれました。

全国でも有名になった二人の話とあつて、会場につめかけた農業者は、深くうなずきながら耳を傾けていました。

万一の心停止に備え

総合体育館・消防本部にAEDを設置



▲総合体育館

心停止による突然死を防ぐため、8月30日に総合体育館と消防本部にAED（自動体外式除細動器）が設置されました。

AEDとは、心停止状態の心臓に電気ショックが必要かどうかを判断し、必要場合は電気ショックを与えて正常な状態に戻す機械で、救命方法の手順が音声で指示されるなど、一般の方でも使えるようになっています。なお、効果的な使用方法を学ぶ救急法講習会や、イベント会場等に貸し出しができるAEDについては消防本部消防署救急班（☎63-0119）へお問い合わせください。

人権擁護委員に 関本良正さん再任

10月1日付けで、関本良正さん（清和甲）が人権擁護委員に再任されました。

毎日の暮らしの中で起こる人権に関するさまざまな問題を解決するため、皆さんの相談に応じるのが人権擁護委員の仕事です。

人権擁護委員は、多様化している人権問題に対する皆さんの身近な相談窓口です。相談は無料で相談内容についての秘密は守られます。定例相談は、毎週火曜日に市役所または各支所で順番に実施していますので、お気軽にご相談ください。



関本良正さん

防犯キャンペーン 一日女性警察官も一役

犯罪のない明るいまちを目指して、10月11日、防犯キャンペーンが行われました。この日は、旭警察署長から2人の一日女性警察官が任命され、金融機関やコンビニなどを回って防犯指導を行いました。

このあと、2人はショッピングセンターに移動し、ちびっこ警察官や地域ボランティアも加わって、訪れた買い物客などへ防犯グッズやチラシなどを配り、防犯の大切さを呼びかけました。



▲ショッピングセンターで防犯を訴える一日女性警察官